

誰にプレゼントしたら…

安江聡司^{さとし}さん

56歳・会社員・名古屋市

7年ほど前、自宅用に新しいプリンターを購入した。欲しい物が手に入り、意気揚々と店から出たところで、ふと教会長さんのことが浮かんだ。

会長さんは毎月、月次祭の案内はがきを下さる。書き添えられた旬々のお諭しを読むたびに、心のほこりが払われるような心地がある。

しかしそのころ、はがきに印刷された文字が少しかすれていた。

「会長さんも新しいプリンターが欲しいだろうな」

そう考えると、居ても立ってもいられず、その足で教会へ向かった。買ったばかりのプリンターを思いきってお供えすると、会長さんは大変喜んでくださった。胸がスツとして、晴れやかな気持ちになった。

これを機に、さまざまな物を目にするたびに「誰にプレゼントしたら、一番喜んでくれるだろう」と考えるようになった。大切な人の笑顔を思い浮かべることです。「ほしい」のほこりを積まずに済んでいるのだと思う。